

大阪錦繪新話

第三号

第三大區七小區饗谷西ノ町佐野屋橋東ノ南側
 住む大講義柴田花守孫三年七月はてしなく書
 讀文字とて説きつゝ新聞紙に有る此子以佐賀縣
 の貫属田中一の男は女秀子とて則ち柴田の娘を此
 子の詠歌と見よと三歳八月はて歌と詠と古未聞を
 二月九日の朝西の空よりありきハ
 朝と多たき日の出たてはまゆげの影見事あり
 ね祖たる雪のあつたよふしん
 大やうりのまこころのらた
 小兒の詞多き雅味はしとて其意
 瞭然とて實は希代の才見あり



阿波文板